

ごあいさつ

「新しい年もコツコツと
～ウサギより緑色のカメのごとく～」

**みなさま、新年あけましておめでとうございま
す。**新しい令和の時代、はじめてのお正月、希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、**1月の初競りで大間マグロ3億3360万円**というビックニュースからスタートし、5月には新しい元号の「令和」が幕開け、9月に開幕したラグビーワールドカップでは快進撃を遂げた日本代表、桜の戦士「ONETEAM」が今年の流行語大賞を受賞し、明るいニュースが国内を駆け巡りました。その一方で、台風19号等による土砂災害や河川の氾濫など、自然災害が非常に多い年でもありました。被災されたみなさまに、心からお見舞い申し上げ、一日も早い復興を祈念いたします。

昨年は、私にとっても、**新たな一步を踏み出した激動の1年**となりました。県議会という新たなステージで、下北に住むみなさまの日常生活を昨日より今日、今日より明日と、より住みやすいものにしていくために、下北を駆け回り、これまでたくさん

の地域の課題を自分の目でみて、肌で感じ、日々たくさんのことを吸収して参りました。人は生きている間、常に「呼吸」をしています。経験という「吸収」ばかりではなく、「呼」、いわゆる発信もしていかなければいけないと感じています。

政治の道を志してから始めたグリーンのウェアでの街頭演説は、県議会議員就任後も継続し、これまでの1年間で240回を超えていました。**兎と亀の競争の喩えで言
えば、一度に多くを発信する
兎より、コツコツ発信する
亀の方が多くのことを伝
えられると私は信じてい
ます。**

**新しい年もコツコツ
とウサギより緑色のカ
メのごとく、地道に経
験と発信を続けて参
りますので、本年も変
わらぬご指導ご鞭撻
のほど、よろしくお願
い申し上げます。**

青森県議会議員

山本 知也

写真：県議会一般質問



街頭活動継続中（1年が経ちました！！）

12月22日現在 合計245回目

むつ市中央交差点



むつ市宇田町



むつ市苦生交差点

やまもとともや
山本知也（36歳）Profile

生年月日：昭和58年2月19日生（むつ市出身）

経歴：奥内小学校、近川中学校、
田名部高校卒（陸上部）
法政大学経営学部経営学科卒

職歴：平成18年 むつ市役所採用
(教育委員会、総合戦略課)
平成30年 むつ市長秘書

地域活動：むつ市県民駅伝チーム 監督
むつアスリートクラブ コーチ

家族：妻、こども3人

県議会：商工労働観光エネルギー委員会
議会運営委員会
原子力・エネルギー対策特別委員会
議会改革検討委員会





県議会へ想いをつなぐ。



Topics

定例会一般質問、県内外調査、国への要望活動、
日々のレポートほか



青森県議会第299回(令和元年9月)定例会一般質問

質問にあたっての決意表明

「一燈照隅 万燈照國」。この言葉は、私がこの道を志すきっかけになった、尊敬する政治家の言葉であります。

一人一人が自分の身近の一隅を照らす。それだけでは小さい明かりかもしれない。その一隅を照らす人がふえていき、万の明かりとなれば、国全体をも照らすことができる。そういう意味であります。

このまちを変えるのは私たち一人一人の意識であります。一人一人ができるることは小さいかもしれません、だからこそ、一人一人に寄り添い、一人一人の思いをつなぎ、一人一人のかけ橋となって、多くの県民の皆様の思いを明かりにかえて、あすの青森を輝かしい未来へと導いていくため、この与えられた職責を全うする所存でございます。

第299回定例会・山本知也一般質問項目

- ① 人口減少克服に向けた知事の県政運営の考え方について
- ② 地域産業の振興について
- ③ 原子力・核燃料サイクル政策と立地地域の地域振興策について
- ④ 放課後児童クラブの設置促進について
- ⑤ 子どもの教育環境の充実について
 - ① 公立小・中学校における教員配置の充実について
 - ② 子どものスポーツ活動の充実に向けた取組について
- ⑥ 医師不足の解消のための取組について
- ⑦ 下北半島縦貫道路の整備促進による高速ネットワークの構築について



写真：青森県議会議事堂

質問 医師不足の解消のための取組について

山本の訴え!!

山本

- POINT** ① 下北で暮らす住民は、医師不足にずっと悩まされてきてています。
② 医師偏在指標では、本県は全国ワースト3位。全国平均を超えてるのは津軽地域のみ。

Q: 本県における医師の地域偏在の解消に向けた取り組みにどのように取り組んでいるのでしょうか?

県の回答

健康福祉部長

答弁：県内における医師の偏在解消に向けて、弘前大学医師修学資金制度の貸与を受けた医師や、県外からのUJターン医師などについて、医師不足が厳しい地域の中核病院や町村部の医療機関等での勤務につながるよう、関係機関と連携して取り組んでいます。

山本の次なる行動

むつ総合病院の待ち時間の解消、下北北通り3町村への北海道からのドクターヘリの実現を訴えていきます!!

質問 下北半島縦貫道路の整備促進による高速ネットワークの構築について

山本の訴え!!

山本

POINT ① この道路に特に思い入れがあるのが「下北未来塾」。いまでは全国各地の女性団体で組織される「全国みちづくり女性ネット」の代表。

②下北半島縦貫道路が早期に全線開通してほしい。この想いは、下北地域の皆様が強く強く願っている。

Q：下北半島縦貫道路の整備促進のために、下北未来塾の活動など、地域との連携が重要と考えますが、どのように取り組んでいくのでしょうか？

県の回答

三村知事

答弁：下北未来塾は、全国みちづくり女性ネットの世話人となり、全国における道路整備促進の一翼も担っており、こういった活動も下北半島縦貫道路の予算確保に貢献しているものと感じところでございます。私としては、下北半島縦貫道路の整備促進のため、引き続き、下北未来塾を初めといたします地域の方々と連携をしつつ、一日も早い全線完成に向けて取り組んでまいる所存でございます。

山本

望：全線開通には、いまだ事業着手に至っていない区間もあり、先が見通せない状況であります。下北未来塾の全国での活動の中で、国土交通省の道路局長から、地域目標を掲げて、その目標に向かって活動していくべきとのアドバイスをいただきました。あと10年、令和10年に下北半島縦貫道路が全線開通する、この地域の思いを十分に御理解いただき、今後の整備促進に全力で取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

山本の次なる行動

1日も早い早期整備!! そしてあと10年での全線開通を訴えていきます!!

原子力・核燃料サイクル政策と立地地域の地域振興策について

山本の訴え!!

山本

POINT ① 本県に立地されている原子力関連施設は新規性基準適合性審査に伴い稼働や工事の再開が大幅に遅れ、立地自治体の財政や地域経済に深刻な影響が及んでいます。

②燃料物質等取扱税交付金の配分方法の見直しについて、県議会や立地4市町村、立地市町村議会でも1年間訴えているが、何も変わっていない状況です。

Q：原子力・核燃料サイクル政策や立地地域の実情を踏まえた地域振興策に対して、県はどのように考えているのでしょうか？

県の回答

エネルギー総合対策局長

答弁：国策である原子力政策の推進のためには、立地地域との協力関係、信頼関係が前提であると考えております。引き続き、立地地域の実情に即した地域振興対策が実施されるよう、機会を捉えて、国、事業者に求めていきたいと考えております。

山本

再質問：立地地域との配分の見直しの議論では税収が下がると説明をしています。税収は12億円増えるという議会への説明が間違えているならば、この場で修正すべきと考えますが、この点について知事の見解をお聞かせください。

エネルギー総合対策局長

答弁：青森県核燃料物質等取扱税につきましては、立地市町村に対する配分のほか、全県において、いわゆる立地周辺地域以外の部分についても活用する必要があると考えております。税の全体のパイがふえない中で、立地市町村、周辺市町村の額をふやしますと、他に対する影響が考えられますので、今回は税収がほぼふえない見込みということを踏まえまして30億円の定額といいたいものでございます。

山本の次なる行動

下北5市町村長、議会議長、むつ市議会、東通村議会などから配分について異論が出ています。地域の実情をみなさんとともに訴えていきます!!



写真・雨質問の様子



県内外調査・国への要望活動

下北半島縦貫道路工事現場視察



内閣府へ雇用創出、移住支援について要望



六ヶ所村二又風力発電所視察



日々のレポート

下北の市町村長との連携
(むつ市役所にて宮下市長と)



大畠漁港朝市へ息子とともに



むつ市
健康ウォーキングへ
参加



むつ南バイパス開通イベントへ
むつアスリートクラブのこどもたちと参加



Facebookで
日々の活動を公開

<https://www.facebook.com/aomori.yamatomo>



青森県議会議員 山本ともや事務所

〒035-0041 青森県むつ市金曲一丁目7番8号 TEL:070-1143-4500 FAX:017-771-4331
E-mail:t7to7m7@gmail.com URL:<https://www.yamamototomoya.net>